

# 2023年日本平和大会実行委員会ニュースno.2



発行:2023年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2023/6/03  
Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

## 大会の概要を確認 第2回実行委員会開催

テーマ

「大軍拡・『戦争国家』づくりストップ！ 軍事費をくらしに回せ」  
「憲法9条活かした平和外交で、非核平和のアジアを」  
「国連憲章守れ！ ロシアは侵略中止せよ！ 一刻も早い停戦を」

2023年日本平和大会実行委員会は2日午後、第2回実行委員会をオンラインで開催。12団体16人と開催地・鹿児島から2人参加しました。鹿児島では3日に実行委員会が結成されます。



### 運動と学習の前進のなかで

実行委員会では、はじめに東森安保破棄中央実行委事務局長が以下のように開会あいさつをしました。(要旨)

4月の第1回実行委員会以降、会場確保などご尽力いただいた開催地・鹿児島のみなさんに御礼申し上げます。

いま開かれている通常国会は、安保3文書の具体化としての軍拡財源確保法案、軍事産業支援法案、さらに原発推進、マイナンバーカードの強制、入管法改悪など、戦争国家づくり、くらしと民主主義を破壊する法律が、与党と補完勢力によって遮二無二強行されている状況です。その中で特に私たちのテーマと関係の深い安保3文書による戦争国家づくりは、外交・防衛面だけでなく、経済・産業・学術・文化などすべての面で平和国家のかたちを変えようとしている、まさに戦後史の転換を図る内容となっているのではないのでしょうか。

これに対する国民世論の状況はどうでしょうか。岸田政権が安保3文書の内容について説明しない、実は説明できないのだと思いますが、共同通信の世論調査では3文書知らないという人が76%です。そういうなかで増税や戦争そのものには反対という強い意識がある一方で、軍拡反対は明確には出てこないという状況にあります。こうした状況は、私たち平和大会実行委員会に参加している諸団体の構成員のなかにも反映していると思います。その意味でいま、運動と結んで、戦争国家づくりとは何かの学習をさらに深める必要があると痛感しています。今年の大会がそうした取り組みの節目、運動と学習の大きな高揚のなかで準備されていくよう討議いただければと思います。

提案と討論では、「大会成功のよびかけ」(添付)や今年の大会のテーマを確認するとともに、1日目の開会集会の構想と、1日目の各種交流会と2日目のシンポ・分科会のテーマや準備する担当団体等を決め、さらに学習パンフの構想についても検討しました。参加費については、2017年の山口大会とオンライン大会の実績をふまえて確認しました。確認された内容は、開催要項(第1次)として後日お送りします。

### ● 今後の流れ

#### ▼次回(第3回)実行委員会(7月12日10~12時オンライン)

この実行委員会までに企画の具体化をすすめる。特に主報告者など、企画の魅力が伝わるようにする。それをふまえて原水爆禁止世界大会に間に合うようにチラシを作製する。

#### ▼学習パンフを7月中に完成させる